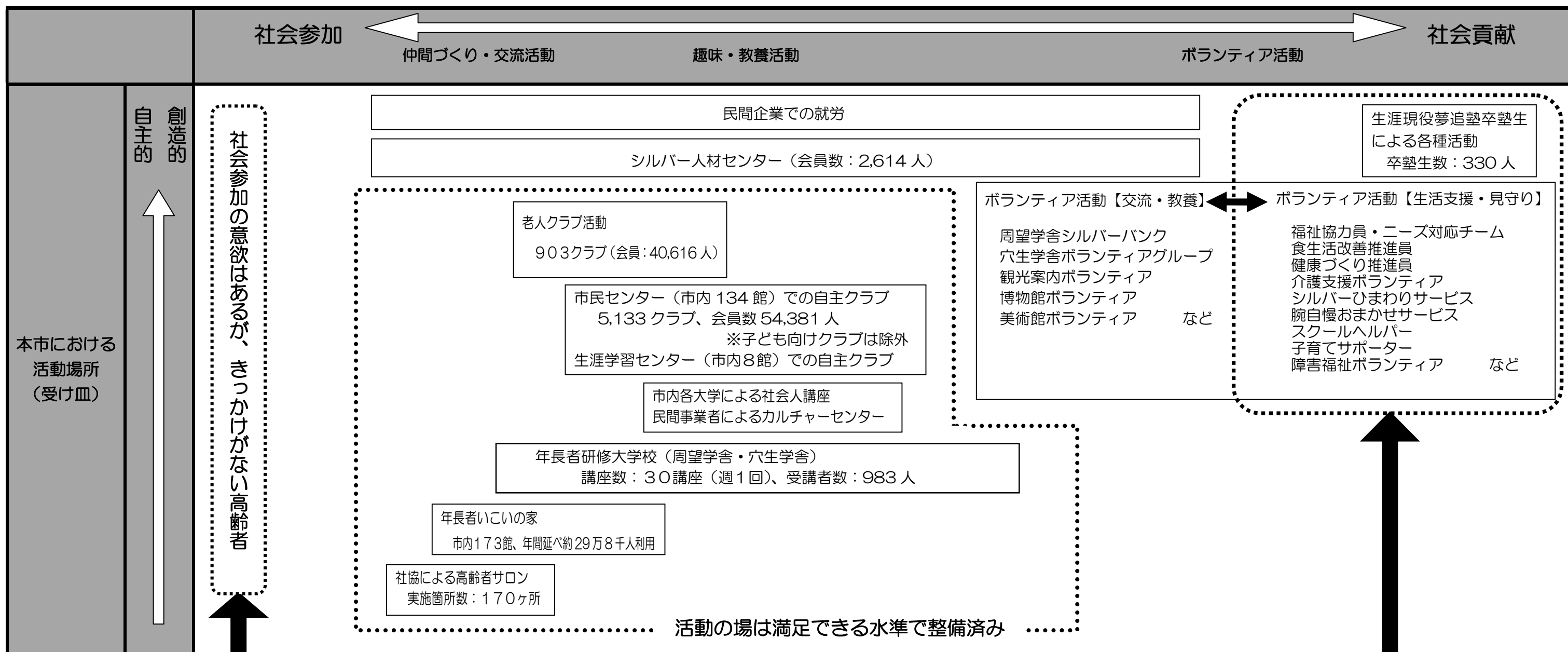


平成 26 年度 第 2 回

介護予防・高齢者活躍推進に関する会議

議題 2 高齢者のいきがづくりに関して今後検討すべき論点について

高齢者のいきがいづくりに関する本市の活動場所および今後検討すべき論点について【たたき台】



検討すべき論点1

「社会参加のきっかけづくりに向けた環境整備」

仲間づくり、趣味・教養活動、ボランティア活動、（就労）などの社会参加の活動場所は、民間ベースや地域住民の自主活動なども含めて「活動の場」の整備は満足できる水準にある。

ただし、こうした各種活動の情報は、現在は分野（活動）ごとに縦割りで情報発信されていることから、社会参加の意欲はあるがきっかけがない高齢者に新たに参加してもらうため、行政・地域住民・民間などによるこれらの活動を横断したアクセスしやすい情報ツールを整備する必要がある。

（現在の取組み）

各市民センターチラシ・HP、生涯学習情報冊子、ボランティア・市民活動センター、高齢者いきがい活動ステーション、市民活動サポートセンター、高齢者就業支援センター、福岡県70歳現役応援センター など

検討すべき論点2

「社会貢献の意欲のある高齢者を地域での生活支援の担い手に繋げていく仕組みづくり」

介護保険サービスや行政による福祉サービスだけではカバーできない地域におけるきめ細やかなサポートを今後も充実していくため、高齢者の在宅生活（や子育てなど）の見守りやサポートに取り組む既存のボランティア活動の参加者を今後も増やしていく必要がある。

さらに、地域で暮らす高齢者のニーズの多様化や質の向上に対応するため、こうした活動を担う新たなボランティア団体（有償も含む）、NPO 団体などの設立を行政としてサポートしていく必要がある。

（現在の取組み）

ボランティア大学校（ボランティア研修など）、市民ふれあいフェスティバル、年長大における「地域ふれあいコース」、生涯現役夢追塾、高齢者地域活動助成事業 など

【参考】高齢者のいきがいくりに関する活動場所について

1. 地域住民同士の交流活動

(1) 高齢者サロン

校（地）区社会福祉協議会が「ふれあいネットワーク活動推進事業」のメニュー事業の1つとして実施。市民センターや集会所などにおいて、週1回から月1回程度、地域の高齢者が参加する「茶話会」「レクリエーション」「健康講座」などを開催。

実施校区数（平成25年度）： 81校区

サロン開設箇所数（平成24年度）： 170箇所

(2) 年長者いこいの家

地域の高齢者の趣味・レクリエーションや憩いの場として、都市公園内などに開設されている。地域の代表者による運営委員会で管理・運営を行っており、地域の利用状況に応じて各館での開館頻度も異なる。

市立の年長者いこいの家： 159館

私立の年長者いこいの家： 14館

(3) 老人クラブ（単位クラブ）

60歳以上の高齢者30人以上で構成される地域団体で、地域において、高齢者の仲間づくり、介護予防活動、一人暮らし高齢者の見守り活動などを行っている。

クラブ数：903クラブ（平成26年3月末現在）

会員数：40,616人（平成26年3月末現在）

2. 趣味・教養活動、スポーツ活動

(1) 市民センター

各小学校区に設置されている市民センター（市内134館：サブセンターも含む）では、地域住民による自主クラブ活動が概ね週1回ごとに行われており、その内容も、教養（パソコン、語学、書道など）、趣味（カラオケ、編物、コーラスなど）、保健体育（卓球、社交ダンス、体操など）など、多岐に渡って活発に活動されている。

クラブ数： 5,133クラブ（平成26年度）

会員数：54,381人（平成26年度）

※子ども向け講座、子育てサークルなどは除く

(2) 生涯学習センター

分館も含めて市内8ヶ所ある各区の生涯学習センターでは、地域住民による生涯学習関連のクラブ活動が行われている。

(3) 年長者研修大学校

周望学舎（小倉北区新高田）、穴生学舎（八幡西区鉄竜）の「年長者研修大学校」では、60歳以上の高齢者が、健康づくり、文化伝承、地域づくり、国際情報、書道、写真、社交ダンスなど、教養・健康・趣味・レクリエーションの各コースのカリキュラムを1年間受講している。

周望学舎：15コース、535人が受講（平成26年度）

穴生学舎：15コース、448人が受講（平成26年度）

3. ボランティア活動

(1) 福祉協力員・ニーズ対応チーム

福祉協力員は、50～100世帯に1人が配置され、一人暮らし高齢者など援助を必要とする人に対して定期的に訪問などを行っている。生活上の問題をいち早く発見し、民生委員・児童委員や区役所など関係機関への連絡を行うほか、福祉情報の提供などを行っている。

ニーズ対応チームは、福祉協力員などが発見した日常の問題の中で、ゴミ出し、買い物など、地域住民で対応できる範囲のサポートを行っている。

福祉協力員数：6,711人（平成26年3月末現在）

ニーズ対応チーム人数：7,430人【福祉協力員含む】（平成26年3月末現在）

(2) 食生活改善推進員

各区で開催している「食生活改善推進員養成教室」を所定の回数を修了したボランティアで、地域において様々な食生活改善事業を担っている。

会員数：1,625人（平成26年6月現在）

(3) 健康づくり推進員

運動・栄養などに関する講義及び実技を修了したボランティアで、市民センターなどにおいて、健康づくりに関する情報発信やウォーキング教室の主催など、地域での健康づくりに関する自主活動の支援や運動などに関する知識の普及を行っている。

会員数：708人（平成26年7月現在）

(4) 介護支援ボランティア

65歳以上の高齢者が特別養護老人ホーム等の介護保険施設・事業所で、入所者の話し相手や芸能披露等を行うボランティア活動。活動を行った場合にはポイントが付与され、貯まったポイントを換金又は寄付することができる。

登録者数：1,210人（平成26年6月末現在）

(5) シルバーひまわりサービス

外出が困難な虚弱高齢者の通院や買い物などの福祉車両での送迎を行うボランティア。

登録者数：1,152人（平成26年3月末現在）

(6) 腕自慢おまかせサービス

高齢者世帯などに出向き、簡単な大工仕事や力仕事を行うボランティア。

登録者数：378人（平成26年3月末現在）

(7) スクールヘルパー

「開かれた学校づくり」の推進を目的に、学校教育の現場において、子どもの安全対策、悩み相談及び授業の手伝いなどのサポートを行うボランティア。

延活動者数：122,056人（平成25年度実績）

(8) 子育てサポーター

孤立した子育てから少しでも不安や戸惑いを軽くできるよう、市民センターでのフリースペースの運営など、地域で子育てを支援するボランティア。養成講座を修了した者がボランティアの登録を行う。

登録者数：1,272人（平成26年3月末現在）

(9) 障害福祉ボランティア

・パソコンサポーター

障害者に対し、パソコンや周辺機器の使用方法等を教えるボランティア。支援方法等についての講習を修了した者が登録し、依頼に応じて派遣される。

登録者数：51人（平成26年3月末現在）

・要約筆記者

手話の習得が困難な中途失聴者・難聴者へ要約筆記を行い、円滑な意思疎通を支援するボランティア。養成講座を修了した者が登録し、依頼に応じて派遣される。

登録者数：41人（平成26年3月末現在）

・盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

盲ろう者のコミュニケーション支援や、外出時のガイドを行うボランティア。養成講座を修了した者が登録し、依頼に応じて派遣される。

登録者数：37人（平成26年3月末現在）

・手話奉仕員・通訳者

手話の講習を受講し、聴覚障害及び音声・言語障害者への手話通訳を行うボランティア。

- **点訳・音訳ボランティア**

点訳・音訳の講習を受講し、点字図書館の蔵書の音訳・点訳を行うボランティア。

- **北九州市障害者スポーツボランティアの会「SKET」**

北九州市障害者スポーツ大会をはじめ、様々な障害者スポーツの大会や教室等の運営を支援するボランティア。

会員数：91人（平成26年6月末現在）

- **その他、各種イベント等の運営ボランティア**

国際車椅子バスケットボール大会や全国ふうせんバレーボール大会などの様々な障害者スポーツの大会や、障害者芸術祭などの運営を行うボランティア（イベントごとに募集）。

＜備考＞

■ **公益社団法人 北九州市障害福祉ボランティア協会**

障害福祉を中心としたボランティア活動の推進機関。関係機関と連携し、ボランティア活動に参加を希望する方の相談を受けるとともに、ボランティア活動に係る情報提供等を行う。

ボランティア初心者へは、必要に応じてボランティア入門講座の案内、コーディネーターによる個別説明会、活動同行等を実施する。

(10) 周望学舎シルバーバンク

年長者研修大学校「周望学舎」では、豊かな経験や技術を持った修了生たちが「周望学舎シルバーバンク」に登録し、支援を必要とする地域に出向き、施設入所者との交流活動や子どもたちへの昔遊びの伝承など様々な活動を行っている。

登録者数：403人（平成26年3月末現在）

(11) 穴生学舎ボランティアグループ

年長者研修大学校「穴生学舎」では、豊かな経験や技術を持った修了生たちによる23のグループが、図書整理や花植えなどの学舎の運営サポートや、地域での傾聴や読み聞かせの活動などを行っている。

登録者数：473人（平成26年3月末現在）

(12) 観光ボランティア

観光客などに対する観光施設の解説や各種会議等における講演、その他本市の観光振興事業への協力を行う、北九州市観光協会に登録されたボランティア。

登録者数：113人（平成26年7月現在）

(13) 博物館ボランティア

いのちのたび博物館などにおいて、来館者への展示解説や普及講座（体験学習・体験コーナー・折り紙教室・紙芝居）等の活動を行うボランティア。養成講座を修了した者がボランティアの登録を行う。

登録者数：65人（平成26年7月現在）

(14) 美術館ボランティア

美術館における展覧会や美術作品の価値や魅力を伝えることを目的に、作家や展覧会に関する資料の整理・分類をはじめ、ガイダンス・ギャラリートークなどを行うボランティア。

登録者数：59人（平成26年3月末現在）

4. 新たな地域活動の立ち上げ

(1) 生涯現役夢追塾卒塾生の活動

今まで培ってきた技術や経験、能力や人脈等を活かしながら、退職後も社会貢献活動や経済活動などの担い手として活躍する人材を育成することを目的に、50歳以上のシニア世代を対象に「生涯現役夢追塾」を毎年7月から翌年3月まで開催している。

NPO コース、コミュニティビジネスコースなど専門課程を修了した卒塾生は、現在、NPO 活動やボランティア活動、また独立しての起業など様々な活動を展開している。

また、卒塾生の有志による「生涯現役夢追塾同窓会」も平成21年に設立されており、シンポジウム、ウォーキング大会、街コンなど地域づくりの様々なイベントを展開している。

卒塾生数：330人（平成25年度末）

5. 就労

(1) シルバー人材センター

健康で働く意欲のある60歳以上の高齢者を会員とした、営利を目的としない会員組織。シルバー人材センターでは、事業所や家庭から除草・清掃、剪定、家事援助などの臨時的・短期的な仕事を引き受けて会員に紹介し、希望する会員が就業する仕組みとなっている。また、センターでは、高齢者に関する無料職業紹介事業も行っている。

会員数：2,614人（平成25年度末）